

平成27年産米の市町村別生産数量目標の配分方法

基準とする面積	基準とする収量
<ul style="list-style-type: none"> 前年度作付面積 県計 13,060ha 前年度配分面積 県計 13,097ha 	<ul style="list-style-type: none"> 地域別統計補正単収 鳥取地域センター公表数値を用いて計算 県平均収量（鳥取地域センター） 514kg/10a（H26）

平成27年鳥取県の配分数量 66,110トン（面積換算値12,860ha）

県配分数量の95%
62,804.5トン

配分数量の5%
3,305.5トン

前年度作付実績

水田面積（転作率均等化）

A
各市町村の前年度生産数量実績の、県全体の合計数量に対する割合で按分

B
水田面積に地域別統計補正単収を乗じ、数量に換算して按分

（地域間調整後の達成率が98%以上の地域は当初配分面積、98%未満の地域は作付面積に、地域別統計補正単収を乗じて算出）

（水田台帳面積に基づく）

【配分要素の考え方】

これまでの配分要素（売れる米づくり、担い手育成、中山間地配慮、種子生産等）は、過去実績として「前年度生産数量実績」に内包されていることから、市町村別の前年度生産数量実績に応じて配分することにより、これまでの配分理念を継承する。

【配分要素の考え方】

市町村別の水田面積に応じて配分することにより、転作率の均衡化に配慮し、全地域で経営所得安定対策のメリットの共有を図る。

62,804.5トン

3,305.5トン

合計数量（A+B）= 66,110トン（面積換算値12,869ha）

○市町村別の需要量に関する情報